

北部港湾広域利用推進会議報告書 - 概要版 -



平成30年7月
京都府

1 北部港湾広域利用推進会議報告書について(1)

(1) 港をとりまく状況について

人流

- 訪日クルーズ旅客500万人時代の到来(政府2020年目標)
訪日クルーズ旅客数 199万人(2016年)
- クルーズ船の大型化
5万トン級(乗客定員872人)⇒22万トン級(乗客定員5,400人)
(飛鳥II 1990年初就航) (オアシスオブザシーズ2009年初就航)

物流

- 中国アジア諸国の生産拠点化と東南アジアへの進展
- 第4次産業革命に対応したSCM(サプライ・チェーン・マネジメント)の更なる高度化
- 海上輸送モーダルシフトによる労働力不足への対応、CO2排出量・物流コストの削減

エネルギー

- 地球温暖化対策計画に基づく低炭素社会への移行
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 船舶の排出ガス規制強化に伴うLNG燃料船舶の普及拡大

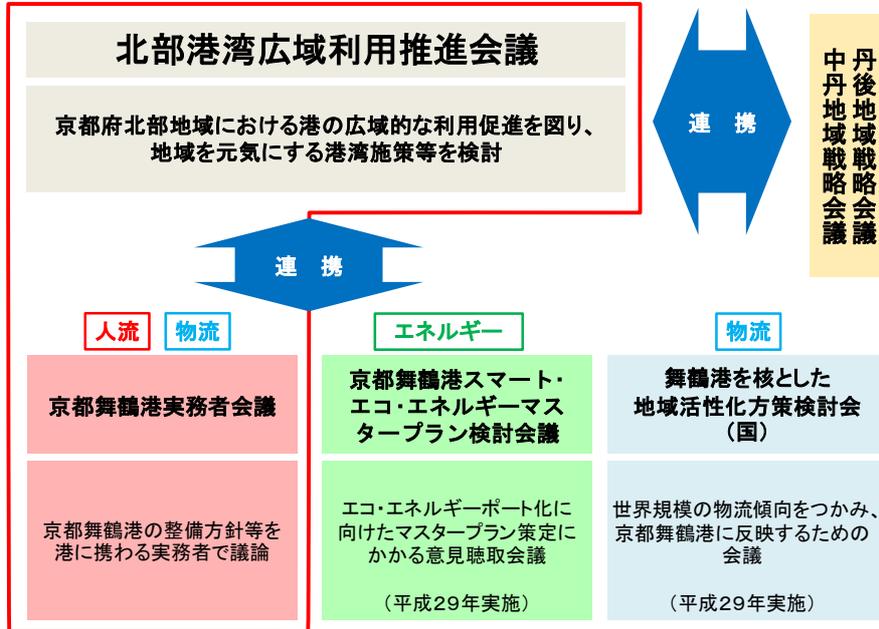
大きな社会の変化

1 北部港湾広域利用推進会議報告書について(2)

(2) 会議の目標年次と対象範囲、スキーム

2030年頃を目標年次とし、京都府北部地域の京都府管理港湾において、概ね完成等が見込める状況を検討することとしました。

【北部港湾広域利用推進会議のスキーム】

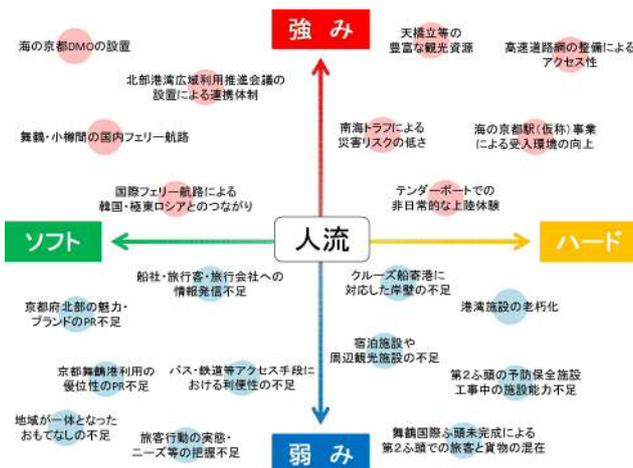


2 北部港湾の強み

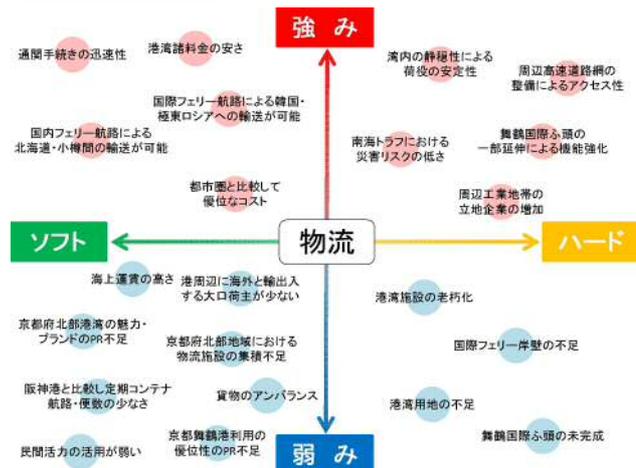
(1) 地理的特性

- ・北東アジア、極東ロシアへの距離的優位
- ・国際的な観光地・京都が背後に存在
- ・壮大なリアス式海岸湾奥への入港風景
- ・阪神港と大差ない東南アジアとのリードタイム
- ・日本三景天橋立への多くの観光客の訪問と客船からの洋上アプローチ
- ・山陰海岸ジオパーク、山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園などの雄大な自然景観 など

(2) 人流



(3) 物流



3 北部港湾の課題

(1) 人流

- ① クルーズ船の寄港に伴う地域振興への貢献
- ② 第2ふ頭の旅客船専用ふ頭化と大型化への対応及び受入施設機能の強化
- ③ 国際フェリーの直行化
- ④ 港湾周辺の遊休土地の活用
- ⑤ フェリー・クルーズ市場・関連産業の形成
- ⑥ ブランド化、高付加価値化
- ⑦ にぎわいある港のまちづくり
- ⑧ 民間活力の導入

(2) 物流

- ① 港周辺への海外と輸出入する大口荷主の誘致
- ② 小口貨物等の更なる取り込み
- ③ 定期コンテナ航路数・便数の拡充
- ④ 荷役機械の老朽化、高度化
- ⑤ コンテナヤードの不足
- ⑥ 倉庫や荷捌き施設の不足
- ⑦ 背後圏の物流拠点の不足
- ⑧ リダンダンシー機能の確保（BCP^{※1}、L1津波^{※2} 対応等）
- ⑨ 国際フェリーの大型化、ターミナルの機能強化
- ⑩ 民間活力の導入

※1・自然災害等発生後の港湾機能が最低限維持できるように示した事業継続計画
 ※2・おおむね数十年から数百年に一度発生する比較的発生頻度の高い津波

(3) エネルギー

- ① 更なるエネルギー供給施設の集積
- ② エネルギーの最適利用
- ③ ガスパイプラインやLNG基地などのエネルギーインフラの整備

【京都舞鶴港の現況】



— 西港全景 —



— 舞鶴国際ふ頭 —

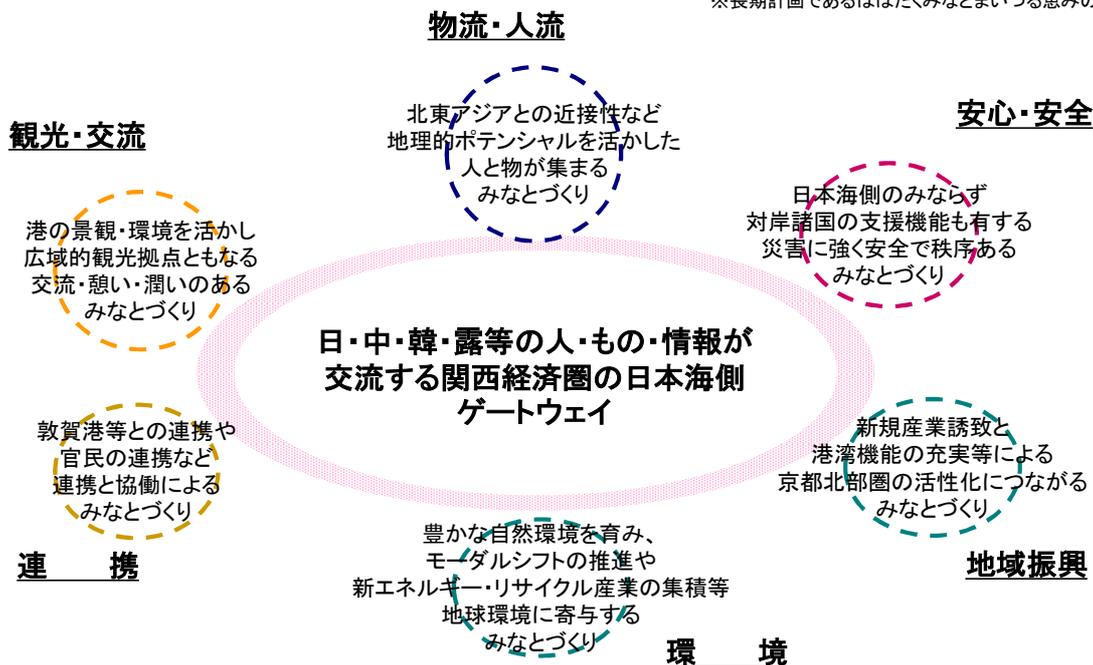


— 前島ふ頭 —

4 北部港湾の目標年次における将来像(1)

(1) 京都舞鶴港

※長期計画であるはばたくみなとまいづる恵みのプラン抜粋



4 北部港湾の目標年次における将来像(2)

(2) 宮津港

(3) 久美浜港

観光・交流・地域振興

日本三景「天橋立」に加えて、湾岸部に位置する道の駅「海の京都 宮津」、「宮津漁師町観光商業センター」、「みなとオアシスたいみやづ」等を活用し、湾岸域一帯となった観光施設の充実を図るとともに、「食事処」「宿泊処」「土産処」を整備し、通過型観光地から滞在型観光地への転換を図ることにより、地域振興と活力創出を目指すみなとづくり

天橋立を望む
歴史文化の息づく海のみやこ
「住んでよし訪れてよし」のみなとまち

環境保全

天橋立の世界遺産登録を目指した環境保全の取組や、太古の聖地としての品格と情緒を感じさせる景観の創出、阿蘇海の浄化や新エネルギーの活用推進など環境への負荷を低減する取組を進め、世界に誇る美しいみなとづくり

歴史・文化・景観

自然と人々の暮らしが融合した天橋立に代表される文化的景観のまちなみや、北前船の寄港地として賑わいをみせた港町・城下町の歴史や文化を保全・継承し、新たな地域資源としての価値を創出していくみなとづくり

世界ジオパーク

小天橋海岸からのロングビーチやかぶと山からの眺望など大自然を満喫できるユネスコ世界ジオパークの自然環境と調和したみなとづくり

文化・歴史

歴史・文化資源や町並等をじっくり歩いてその場の空気を感じられるまちづくりと風土に根ざして営まれてきた水産業という生業により形成された久美浜湾とカキの養殖景観と調和したみなとづくり

観光・交流

地産・地消による、ここにしかないほんまもの「食」、カヌーや遊覧船など雄大な自然を活用した感動のアクティビティなどおもてなしのみなとづくり

“旬”でもてなす食のみなとまち

「癒しの食」「素晴らしいふるさとの資源」あふれるみなと

5 北部港湾の目指すべき方向性(1)

(1) 基本的な考え方

近年ICTの発達は、様々な経済活動をデータ化し、そうしたビッグデータを、インターネットを通じて集約し分析・活用(IoT/AI)することで、新たな経済価値を創出しており、我々の生活や経済をより豊かで便利なものにしていきます。港湾を取り巻く人流・物流及びエネルギー分野においても、このような大きな変革を踏まえ、先進的でグローバルな取り組みを積極的に進めることにより、北部港湾が地域活性化の牽引役として一層大きな役割を果たしつつ、唯一無二の魅力を有した港として持続的に発展していくことを目指します。

また、北部港湾は魅力的な地域資源を有効に活用し、京都港としてのブランド強化を図り、北部地域をはじめ広域での交流活性化を目指します。

5 北部港湾の目指すべき方向性(2)

(2) 人流

① 日本海側の玄関口としての観光ゲートウェイの機能強化

クルーズ、フェリー等船による観光市場が拡大しており、旅客船の大型化もなされています。これらの受け入れのための施設機能の強化や京都府北部一体となったおもてなし環境の創出により、京都港として一体的に観光客の誘致を進め、日本海側における海の玄関口としての機能強化を図ります。



図 第2ふ頭のイメージ

② 地域資源を活かし、連携と協働による京都府北部のブランドの創出と交流活性化

天橋立、伊根湾、赤レンガ倉庫群、久美浜湾、福知山城、グンゼ博物館などの観光、かに、かき、フルーツ、スイーツなどの食、丹後ちりめん、地酒などの特産品等豊富な地域資源を活かし、多様な交通手段による広域周遊観光の促進や京都府北部のブランド強化を図ります。



図「海の京都駅」外部イメージ

③ 景観整備等、各港の特徴を踏まえた魅力向上

山陰海岸ジオパーク、山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園や若狭湾国定公園の自然景観、京都府景観資産等の街並み景観などと、みなとそのものが創出する景観との調和を図るため、景観に配慮した港湾施設の整備や、民間施設の景観誘導に努めます。



図「海の京都駅」内部イメージ

8

5 北部港湾の目指すべき方向性(3)

(3) 物流

① 新たな価値の創出に向けたロジスティクス機能の強化

北東アジアとの近接性等の優位性を活かし、大口荷主や広域物流施設の誘致や海上輸送サービスの拡大、京都府北部地域の特産品輸出拡大に向けた設備整備、舞鶴国際ふ頭の整備やICTの活用などロジスティクス機能の強化を図ります。



図 舞鶴国際ふ頭のイメージ

② 国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現

北海道小樽との国内フェリー航路を活かし、新たな国際フェリー航路の開設や既設の国際フェリー航路の大型・直行化により、府内産の農水産物等の輸出入拡大にも資する国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現を目指します。

③ 平時の利用を前提とした太平洋港湾のバックアップ機能強化

京都舞鶴港舞鶴国際ふ頭第2バースの早期整備、前島ふ頭耐震機能の強化を図ると共に、既存定期航路の便数増を実現し、災害発生時における太平洋側のリダンダンシー機能を視野に入れた京都舞鶴港の利用促進を図ります。



図 前島ふ頭のイメージ

④ 中国、韓国、極東ロシアの物流ゲートウェイ機能の強化

中国の一带一路構想や朝鮮半島など近隣状況を視野に入れつつ、急速な経済発展を遂げる北東アジアや東南アジアの貨物需要を取り込むため、釜山港との連携強化や中国・ロシア航路の充実など、物流ゲートウェイ機能の強化を図ります。

9

5 北部港湾の目指すべき方向性(4)

(4) エネルギー

① 環境負荷の少ない新たなエネルギー拠点

港湾周辺に立地する港湾・物流施設やおもてなし関連施設において、再生可能エネルギーなどの新エネルギーの供給拠点化とICTを活用した情報基盤を整備し、エネルギーの地産地消を進め、港湾一帯の低炭素化を図ります。

② 再生可能エネルギー利用と情報化による高度な機能

港湾一体の低炭素化の推進と港湾内における各種業務の情報化を進めるため、ICTを活用して限られたふ頭用地や港湾施設などについて、高度で安全な港湾物流設備の導入を検討し、京都舞鶴港エコ・エネルギー・ポート化を推進します。

③ 再生可能エネルギー及びICTを活用したグローバルかつ高質なおもてなし

来港者や観光客へのサービスやおもてなしの提供に際しては、ICTを活用することで、自動翻訳やキャッシュレス化、デジタルサイネージによる双方向のコミュニケーションの実現など更なる利便性・快適性・顧客満足の上昇に努めるなど観光拠点機能の充実を図ります。



図 エネルギーのイメージ
(引用: 京都舞鶴港エコ・エネルギー・マスタープラン)

地域を元気にする港湾施策の概要

凡例： ●…ハード事業 ○…ソフト事業 【共】…京都舞鶴港、宮津港、久美浜港 【舞】…京都舞鶴港 【宮】…宮津港
 【久】…久美浜港 【国】…舞鶴国際ふ頭 【2】…第2ふ頭 【平】…平ふ頭 【前】…前島ふ頭

	目指すべき方向性	短期（～2022）	中期（～2025）	長期（～2030）
人流	①日本海側の玄関口としての観光ゲートウェイの機能強化	○乗船客のニーズ・行動等の科学的分析に基づく消費拡大策の実施【共】 ●第2ふ頭の大型化対応（増深等）【2】	○IoT/AIを活用した観光拠点機能の充実【共】 ●16万トン級の大型クルーズ船の受入環境整備【2】	○港湾周辺への自動運転の拡張【共】 ●前島国際・国内フェリー機能強化（ターミナル等）【前】
	②地域資源を活かし、連携と協働による京都府北部のブランドの創出と交流活性化	○客船寄港時の広域的に連携した歓迎（北部5市2町への誘導）【共】 ●「海の京都駅」整備（第1種上屋の旅客ターミナルへの転換等）【2】	○レンタサイクル等を活用した西舞鶴、東舞鶴間の誘導【舞】	○国際クルーズ拠点形成による民間投資の促進【2】 ●北部港湾を結ぶアクセス性の向上【共】
	③景観整備等、各港の特徴を踏まえた魅力向上	●景観保全事業（天橋立等の景勝地の景観保全等）【共】	●北部港湾全体の景観対策【共】	●港湾の特徴を活かしたまちづくり【共】
物流	①新たな価値の創出に向けたロジスティクス機能の強化	○インセンティブの戦略的拡充【舞】 ●第Ⅱ期整備着工、第2パース着工【国】	○IT化による貨物の可視化【国】 ●第2パース完成【国】	○効率的・効果的な港湾運営体制の構築【舞】 ●物流拠点化（バルク、コンテナ取扱機能強化）【国】
	②国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現	○データに基づくビジネスモデルの構築と集荷活動等の取組強化【共】 ○国際フェリー大型化・直航化【前】	○外国定期コンテナ航路の拡大【国】 ●国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送【舞】	●Ⅱ期地区への自動システム導入（AIターミナル）【国】 ●臨港道路前島ふ頭線の着工【前】
	③平時の利用を前提とした太平洋港湾のバックアップ機能強化	○太平洋側港湾のバックアップ機能の強化【舞】 ○BCP（事業継続計画）による訓練の拡充【舞】	○労働人口不足、安全に対応した港湾業務のIoT化、人材育成【舞】	○港湾関連施設（倉庫等）の誘致【国】
	④中国・韓国・極東ロシアの物流ゲートウェイ機能強化	●上屋施設、倉庫の整備【国】	●複数船舶が着岸可能な岸壁の整備【前】	●船舶の大型化に対応した大水深岸壁の整備【国】
エネルギー	①環境負荷の少ない新たなエネルギー拠点	○再生可能エネルギー施設・設備の積極導入【舞】 ○エネルギーマネジメントシステムの整備【舞】	○特定需要家の立地促進【舞】 ●既存施設への熱融通の実現【舞】	○データとエネルギーを活用した地域支援の実現【舞】 ●LNG構想（基地・発電・パイプライン）の実現【平】
	②再生可能エネルギー利用と情報化による高度な機能	○港湾における再生可能エネルギーの導入促進【舞】 ●スマートライトの導入【舞】	○港湾システムの利用促進【国】 ●安心・快適な利用に向けた港湾設備【舞】	○陸電供給システムやLNGバンガリング拠点形成【舞】 ○港湾施設等の3Dマップ化【舞】
	③再生可能エネルギー及びICTを活用したグローバルかつ高質なおもてなし	○多言語化の推進及び翻訳サービスの導入検討【舞】 ●ふ頭・旅客ターミナルの景観整備【2】	○港湾内における自動運転【舞】 ○ふ頭内のキャッシュレス化の実現【2】	○港湾周辺への自動運転の拡張【共】 ○ビックデータ活用ビジネスの展開【共】

7 ロードマップ

凡例 ハード事業 ソフト事業



8 進捗確認と検証

(1) 進捗状況の確認

- ①未着手 計画検討等進捗が無い状況
- ②検討段階 実施計画策定のための会議等を開催している状況
- ③計画段階 実施計画を策定している状況
- ④実施段階 工事発注や実証実験など取り組んでいる状況
- ⑤完了 工事検査完了や設置済みの状況

(2) 検証の方法

上記の進捗状況を踏まえ、次の項目について5段階で検証する。

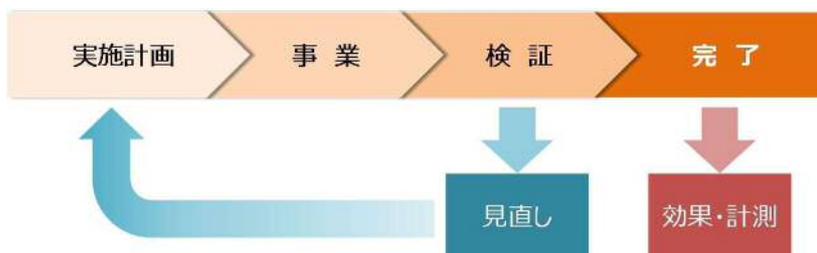
①項目

- ・着手時期は適切か
- ・実施計画は適切か
- ・設置されたものの効果は (単独施策及び関連施策との相乗)

②5段階の目安

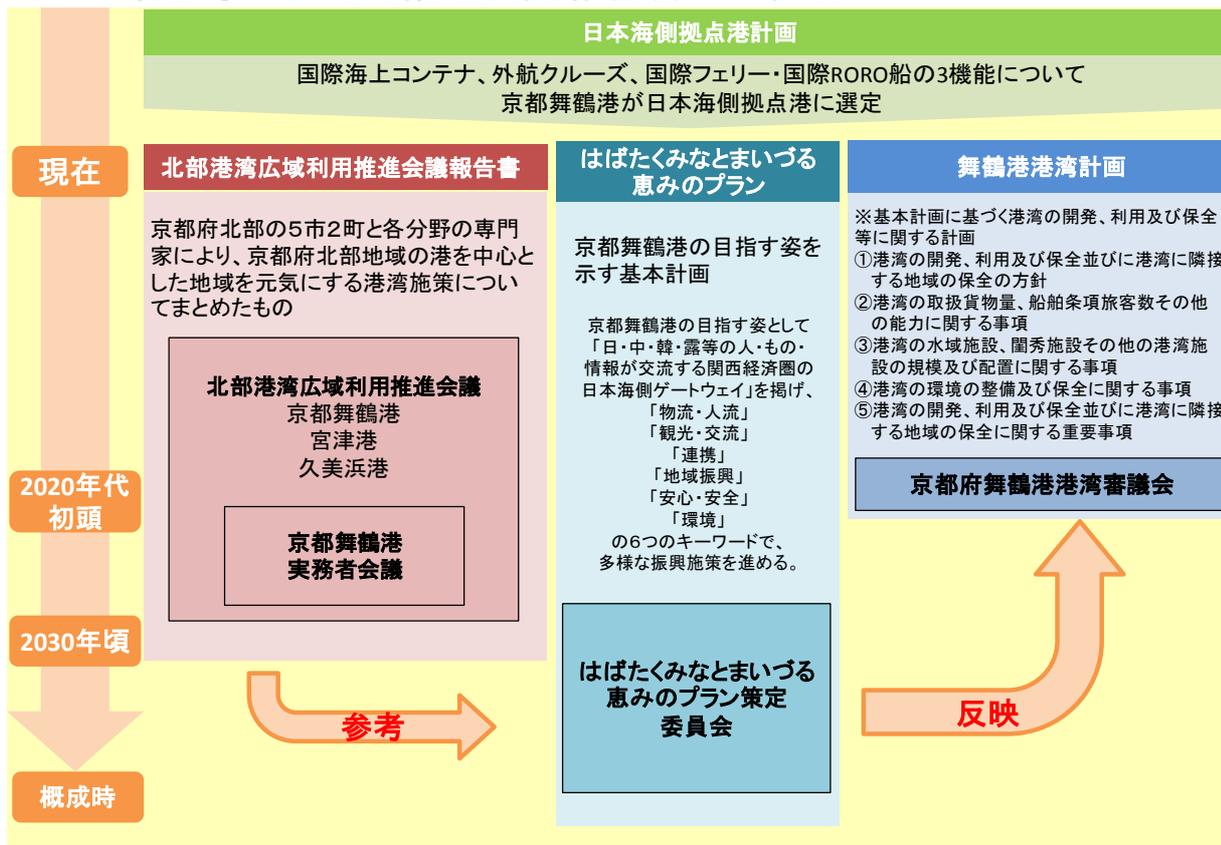
1. 実施計画以上の大きな波及効果があり、大変すばらしい
2. 実施計画以上の効果がありすばらしい
3. 実施計画どおりの効果
4. 実施計画まで効果が確認できず、改善が必要
5. 実施計画とは大きな乖離があり、見直しが必要

【検証のイメージ】



9 北部港湾広域利用推進会議の位置付け

○北部港湾広域利用推進会議報告書の位置付け



10 参考資料

